



消防団の組織概要

令和5年4月1日現在

都道府県名	静岡県	所在地	〒413-0015		
市町村名	熱海市		静岡県熱海市中央町1番1号		
消防団事務所管	熱海市消防本部消防総務課	電話番号(直通)	0557-86-6614	FAX	0557-86-6616
消防団名	熱海市消防団	メールアドレス	shobokanri@city.atami.shizuoka.jp		

組織	分団数	12	分団	ホームページURL	https://www.city.atami.lg.jp
	うち機能別分団数	0	分団	SNSアカウント	
	方面隊数	4	隊		
	部数	12	部	消防団活動事例・PR等	
	班数	74	班		
団員数	条例定数	450	人	<p>熱海市消防団は熱海(東部・中部・西部)、泉・伊豆山、多賀、網代、初島の各地区で11個分団及び女性消防部で組織されています。</p> <p>幅広い年齢層の団員が所属し、「自分達の街は自分達で守る」という郷土愛のもと自分の仕事をしながら火災が発生した時の消火活動のみならず、自然災害発生時の活動、地域防災訓練への参加、夜間警戒など地域に密着して、住民、観光客の安心安全を守っており、地域コミュニティの活性化に大きな役割を果たしています。</p> <p>また毎月定例訓練として各種資機材の取り扱いや消防ポンプ車の取り扱い訓練、年間複数回にわたり常備消防と合同の火災想定訓練も行っており、地域防災力の中核として所属団員が災害対応技術の向上を図っています。</p> <p>春夏秋冬に行われ、四季の花火が楽しめる「熱海海上花火大会」においても、常備消防と一体となり、観覧客の安心安全のため花火警戒を行っています。</p> <p>令和3年7月に発生した熱海市伊豆山土石流災害では、長期間にわたり緊急消防援助隊の活動支援や被災者からの要望対応、被災エリアにおける夜間防犯パトロールに従事、日頃より地域に密着し活動していた消防団が災害活動において多大な貢献をしました。</p>	
	実員数	366	人		
	男性団員数	355	人		
	女性団員数	11	人		
	基本団員数	332	人		
	大規模災害団員数	0	人		
	その他の機能別団員数	34	人		
職業構成別団員数	国家公務員	4	人		
	地方公務員	16	人		
	都道府県職員	0	人		
	市区町村等職員	16	人		
	特殊法人等公務員に準ずる職員	17	人		
	農協職員	17	人		
	日本郵政グループ	3	人		
その他	326	人			
ポンプ	普通消防ポンプ自動車	11	台		
	水槽付消防ポンプ自動車	0	台		
	小型動力ポンプ付積載車	0	台		
	小型動力ポンプ(車両に積載していないもの)	12	台		
	手引き動力ポンプ	0	台		
年額報酬	報酬額(階級:団員)	年額	36,000	円	
	(参考)交付税単価(階級:団員)	年額	36,500	円	
出動報酬	火災	2,500	円		
	風水害等の災害	2,500	円		

※1:「消防団の組織概要等の調査」による

※2:「年額報酬」「出動報酬」の額は、令和5年4月1日現在の条例で定める額。

「出動報酬」については、日額で定めがある場合は最大額を記載。一方、日額で定めていない場合は8時間の出勤に換算した額を記載。定めがない場合又は年額支給の場合には「-」と記載。

※3:詳しくは、各市町村等のホームページ等を参照。